

国営農地開発事業の概要（平成26年度版）

島根県農地整備課 国営事業対策室

I 国営農地開発事業の概要

1 地区の事業概要

県内の国営農地開発事業完了地区は、横田（奥出雲町）、大邑（大田市・美郷町）及び益田（益田市）の3地区があり、事業概要は下表のとおりとなっています。

地区名 事業名	着工年	最終変更 年月日	完了公告 年月日	造成実績 ha	総事業費 百万円
横田地区 国営農地開発事業	昭和49年	平成8年6月26日	平成9年3月5日	370.8	30,691
大邑地区 国営農地開発事業	昭和54年	平成4年7月22日	平成6年3月31日	220.7	9,765
益田地区 国営総合農地開発事業	昭和49年	平成元年3月16日	平成元年3月31日	421.8 (農地開発)	22,467
				194.7 (区画整理)	
合計	農地開発	—		1,013.3	62,923
	区画整理	—		194.7	

(1) 横田地区

横田開拓建設事業所は特別会計制度（部分特計）によるダム工事の着工と農業情勢の変化に伴い、昭和61年度より変更計画（第1回）の策定を開始し、平成元年2月13日に確定しました。

また、その後の農業情勢等の変化に伴い、平成4年12月から第2回目の変更計画の策定を開始しました。造成面積が375haとなるなど事業規模が縮小された変更計画は平成8年6月26日に確定し、平成8年度に事業完了しました。

(2) 大邑地区

大邑地区は当初574haの農地造成を計画し、昭和54年度から事業に着手しました。その後、農業情勢の変化や参加農家の脱落等に伴い、事業規模を縮小する内容で当初計画を変更する必要が生じ、大邑地区開拓建設事業所は平成元年度から変更計画の策定を開始しました。変更計画は平成4年7月22日に確定し、平成5年度に事業完了しました。

(3) 益田地区

益田地区は当初916haの農地造成と水田309haの区画整理事業を併せ実施する計画で、昭和49年度に着工しました。昭和53年度には、特定土地改良事業特別会計に移行し、またその後農業情勢等の変化に伴い、昭和60年度から第2回目の計画変更の策定を開始しました。平成元年3月に変更計画が確定し、造成面積を628haにするなど事業規模が縮小され、昭和63年度に着工後14年目にして事業が完了しました。

【横田地区：
横田 1 団地
約 2.9 ha】



【大邑地区：
萩原 7・20 団地
約 6.4 ha】



【益田地区：
高津工区
約 24.0 ha】

